

秋の研発2021

Zoom事前接続テスト (09/01, 09/03) 説明資料

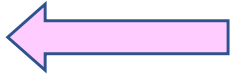
【2021/8/30版】

目次

1. オーラル（発表者）
2. ポスター（発表者）

日本音響学会2021年秋季研究発表会 オーラル発表 リハーサル

今日のリハの進め方

- ◆ 最初の5分：座長・副座長向けの説明
- ◆ 次の5分：発表者向けの説明 
- ◆ そのあと50分：希望者から順に接続テスト
- 発表練習のためにご来場の方も、「最初の5分」からご参加くださるようお願いいたします。

■ 2021年春季研究発表からの重要な変更点

- 参加者は誰でも画面共有が可能です。（今秋の研究では、画面共有するために共同ホスト権限の取得は不要です。）

はじめに

- セッション開始の**15分前までに**，Zoom会場へアクセスください（厳守）。
- Zoom会場へは，ポータルサイトからアクセスください（詳細はHPのオンライン特設サイト）
- 会場ではZoom名を**P_氏名（所属・User ID）**に。
例：P_音響太郎（音響大学・9999）
 - 発表セッション終了後は，「P_」を取ってください。
- 2021年春の研発と違い，発表者は**共同ホスト権限の付与は不要**です。 # Webinar会場は**パネリスト権限**
 - どなたでも発表資料を共有できます。

発表

- 前の発表の計時画面が14分を経過したら、（前の発表・質疑が終了していなくても、）下記の準備をしてください
 - ▶ マイクのミュートを解除
 - ▶ 画面共有機能を用いて、プレゼン資料の共有準備
 - ▶ デモの音を使う場合は、画面の共有の際に「音声を共有」をチェック
 - ▶ 前の発表者の画面共有が停止するのを待って、画面共有
- 座長の合図で、発表を始めて下さい。
- 発表時間は厳守お願いします。
 - 講演時間12分，質問時間3分（交代時間含む）
 - 計時は会場係が実施し，画面に表示する予定です

ヘッドセットマイク，またはヘッドホン・イヤホンをお持ちの方は，ぜひご利用ください。

質疑， 発表終了後

- 質疑
座長が質問者等を指名します。マイクを通して議論をしてください。
- 発表終了後
 - 発表が終了したら「共有の停止」を押して、次の講演者が画面共有できるようにしてください。
 - セッション終了後は、Zoom名から「P_」を削除し、一般参加者としてご参加下さい。
例：音響太郎（音響大学・9999）

接続練習を行っています

- 座長副座長の方は，名前冒頭にC_を，発表者の方は，名前冒頭にP_をつけてください。
- 会場係は，C_の皆さんに共同ホスト権限を付与してください。
- 画面共有や音声デモその他の練習をしたい方は，全体へのチャット（や音声）でお申し出ください。

To rehearse, please enter “I want to practice” in the chat box.

- 譲り合っの練習に，ご協力お願いします。
 - もし待ち行列が長い場合には，ブレイクアウトルームにご案内する場合があります。

秋の研発2021 ポスター （発表者）

発表する方は当日までに参加登録が必要です

今日のリハの進め方

最初の5分：座長・副座長向けの説明

次の5分：発表者向けの説明 ←

そのあと50分：希望者から順に接続テスト

今回のポスターセッション （基本的に2021年春の研究と同じ）

1. ポスター掲示サイト

- 発表者が作成したポスターを掲示するwebサイト(Moodle)

2. ポスター質疑セッション

- 発表者と聴講者がリアルタイムに質疑を行なう(Zoom)

★今日はこちらの練習★

皆様には、両方でのご発表をお願いいたします。

1. ポスター掲示サイト (Moodle)

- ポスターは、**会期中ずっと公開**されます
- サイトにはテキストによる質疑の環境（フォーラム）があります
 - 学会参加者は、いつでも質問やコメントを書き込めます
 - **随時チェックをして、テキストで議論してください**
- **ポスターの掲示をお願いします（9/6までに）**
 - 掲示方法のご案内済です
 - HPのオンライン特設サイトでもご案内しています
 - ポスターには音声を埋め込んでも構いません
 - 動画URL等へのリンクをはることもできます
（ポスター掲示サイトへの、動画ファイルの直接uploadはご遠慮ください）

2. ポスター質疑セッション (Zoom)

- ポスターセッション1つにつき1会場，ポスター1件につき1ブレイクアウトルーム
 - Zoomのバージョン**5.3.0以上**が必要です
 - 発表時刻は，プログラムでご確認ください
- **1組60分（連続する時間帯のポスターと，同じブレイクアウトルームを利用しますので，時間が来たら交替ください）**
- 複数のポスターが並行して発表
 - 座長・副座長は常駐しませんが，60分の間に必ず来ます（のはずです）
 - 座長・副座長のZoom名 = C_氏名（所属・User ID）

【当日】 当該プログラムを共有

ご自分のブレイクアウトルームに移動してください

午後—後半B (17:00~18:00) [音声A・音声B] 座長 秋田 祐哉 副座長 安藤 厚志

日	会場	質疑時間	講演番号	備考
第1日	ポスター(第3会場)	17:00~18:00	1-3Q-1~1-3Q-14	午後—後半B

例

末尾の●の数値がブレイクアウトルームの番号です

1-3Q-1 (17:00~18:00)

単母音発声を対象とした深層話者照合手法の検討

○高見澤 真央, 黒岩 眞吾, 堀内 靖雄(千葉大学), 柘植 覚(大同大学)… (31)

1-3Q-2 (17:00~18:00)

音声強調のための深層学習に基づくクリッピングノイズ抑圧の検討

○福森 隆寛(立命館大)… (32)

1-3Q-3 (17:00~18:00)

—講演取消—

… (32)

1-3Q-4 (17:00~18:00)

Kaldi ベースのストリーミング音声認識システムの開発

☆レオ チーシャン, △王 宇(山梨大院・工), 小林 彰夫(筑波技術大・産業技術),
宇津呂 武仁(筑波大・システム情報), 西崎 博光(山梨大院・工)… (32)

1-3Q-5 (17:00~18:00)

音響イベント分類のためのイベントクラスを考慮した音響合成に基づくデータ拡張

☆杉浦 東風(山梨大院・工), 小林 彰夫(筑波技術大・産業技術),
宇津呂 武仁(筑波大・システム情報), 西崎 博光(山梨大院・工)… (32)

1-3Q-6 (17:00~18:00)

妨害発話に基づく補助損失を用いたマルチモーダル目的話者音声認識

☆角田 遼太(神戸大), 相原 龍(三菱電機), 高島 遼一, 滝口 哲也(神戸大), △今井 良枝(三菱電機)… (33)

1-3Q-7 (17:00~18:00)

音声意味理解への応用を指向した非自己回帰型End-to-end 音声認識

◎大町 基, 藤田 悠哉(ヤフー(株)), 渡部 晋治(Carnegie Mellon University),
Tianzi Wang(Johns Hopkins University)… (33)

1-3Q-8 (17:00~18:00)

ドメイン適応と話者一致損失を用いた話者適応によるクロスリンガル音声合成

☆辛 徳泰, 齋藤 佑樹, 高道 慎之介, 郡山 知樹, 猿渡 洋(東京大学)… (33)

1-3Q-9 (17:00~18:00)

音響モデルの話者適応に基づく脊髄性筋萎縮症者の音声明瞭化の検討

☆吉本 拓真, 高島 遼一(神戸大), △佐々木 千穂(熊本保健科学大), 滝口 哲也(神戸大)… (33)

1-3Q-10 (17:00~18:00)

音素情報を知識蒸留する舌歪全摘出者の音韻明瞭化改善法

○高島 和嗣, 阿部 匡伸, 原 直(岡山大・IS 統合科学研)… (34)

1-3Q-11 (17:00~18:00)

喉頭の高速度デジタル撮像を用いたロック歌唱におけるフォールスコードスクリームの検討

☆田中 誠人, 李 庸學, 鎌木 時彦(九州大学)… (34)

1-3Q-12 (17:00~18:00)

Wav2vec 2.0による音声認識手法を用いた音声合成モデル学習用入力ラベル推定手法の検討

◎栗原 清(NIK メディア開発企画センター)… (34)

1-3Q-13 (17:00~18:00)

音声分析合成システムの無声音生成に用いる励起信号の違いが分析合成音の品質劣化に与える影響の調査

☆田鎖 佑弥, 森勢 将雅(明治大)… (34)

1-3Q-14 (17:00~18:00)

End-to-End 音声合成のContinual Learningにおける破滅的忘却の影響の調査

○齋藤 佑樹, 猿渡 洋(東大院・情報理工)… (35)

・ポスター番号の奇数／偶数によらず、全てのポスターが同時に走ります
 ・ブレイクアウトルームへの自由な入退室にはZoom 5・3・0以上が必要です

Zoomでの質疑応答時

- Zoom会場へは，ポータルサイトからアクセスください
 - Zoomのバージョン5.3.0以上が必要です
- 発表時はZoom名をPP_氏名（所属・User ID）またはPQ_氏名（所属・User ID）に。
 - 例：PQ_音響太郎（音響大学・9999）
 - 発表終了後は，「PP_」や「PQ_」を取ってください
- マイクミュートを解除して説明・質疑ください（進行はご自身で）
 - 必要に応じ，画面共有機能で，資料表示ください
 - デモの音を使う場合は，画面の共有の際に「音声を共有」をチェックしてください
- **【重要】** 2021春の研発では，発表者は**共同ホスト権限**の付与が必要でした。→ 2021秋は，**その必要はありません**。
 - これにより「ブレイクアウトルームを閉じる」事故がなくなります
 - ご自身が画面共有していれば「荒し」はされないでしょう

接続練習を行っています

- 座長副座長の方は、名前冒頭にC_を、発表者の方は、名前冒頭にPP_またはPQ_をつけてください。
(本日の練習では、PP_またはPQ_のどちらでもOKです。)
- ポスターの資料共有や、音声再生の練習：
 - ブレイクアウトルーム1または2で、練習をします。
 - 練習をしたい方は、全体へのチャット（や音声）でお申し出ください。
To rehearse, please enter “I want to practice” in the chat box.
- 他のブレイクアウトルームへの出入りの練習：
 - 適宜、お試しいて結構です。
- 譲り合ったの練習に、ご協力お願いします。